

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第45号 平成19年9月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



高校生のNPOインターンシップ

・高校生が岐阜市各所で環境保全活動

○高校生が岐阜市各所で環境保全活動

高校生の皆さんが夏季休暇を利用して、市内各所で環境保全活動を行っているNPO団体でインターンシップ活動を行いました。

今回の活動では、自然ふれあい地域の金華山や達目洞、大洞硯石池における活動の他、長良川環境レンジャー協会、ぎふし森守クラブにも受け入れていただきました。

高校生にとって、環境保全活動とはどのようなものだろうか？ それぞれの参加者に聞いてみると、殆どの参加者が具体的な活動は想像できず、活動自身がどのような目的で行っているのかわからないものもあったようです。環境を守ることはとても大切だけれど、何をやったらいいのかわからない。参加する機会が身の回りになかったというのが現状のようです。

しかし、このインターンシップを通して高校生は、



イノシシよけのネットを
高校生と一緒に行いました。



間伐作業、水路整備など
多くの環境保全活動を
高校生と一緒に行いました！



市民団体がどのような目的で活動し、地域でどのような活動が行われているのか、ひとつひとつ学び理解できたようです。

達目洞の稲作活動がなぜ必要か？ それは、達目洞全体の湿地の維持を目的に実施しています。

硯石池の周辺の人工林の間伐がなぜ必要か？ それは、硯石池を含む流域全体を管理することが、硯石池周辺に生息する希少動植物の生息環境を守ることになるからです。

河原の清掃や利用者の啓発活動がなぜ必要か？ それは、美しい長良川の自然環境を子ども達に伝えていく責任が大人にはあるからです。

ツルで覆われた斜面から、なぜツルを除去する必要があるのか？ それは、このまま放置しておくとうるしをはじめとした森林の回復が遅れてしまうからです。

この他にも高校生たちはたくさんの方を学びました。日頃の学校生活では学べないこのようなことが「地域に根付いた実学」ではないかと思えます。



長良川河川敷の活動では、川の状況をつぶさに観察すると共に、人の活動が川に与える影響をゴミや水質から実感することができました。



斜面全体がツル植物に覆われています。この状況では、いつまでも森林に変化せず、樹木が生えない状況が続くでしょう。そこで、ツル植物を除去し、地面に光をあて、必要に応じて植樹をすることで、森林に回復していくでしょう。

このような地域の活動を通して若者が学ぶことは、たくさんあるはずです。その事を意識しつつ、環境保全活動を行っているNPO団体がこれからも若者を受け入れる体制を整えていけば、岐阜市の自然を守ることでできる人材を育成できるのではないのでしょうか？

○おわりに

高校生が地域の環境保全活動に参加している様子は本当に活気あふれるものでした。

若い世代と大人が力を合わせて岐阜市の環境保全活動をしていくことが「ごく当たり前の日常生活」になれば、岐阜市の自然はより豊かになり、市民の自然に対する価値観も向上するのではないのでしょうか。



岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html